

# 美浜発電所3号機事故 再発防止対策の実施状況について

関西電力株式会社  
平成28年11月14日

# 美浜発電所3号機事故再発防止に向けた取組み概要

## ○社長の宣言

**「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」**

## ○基本行動方針

- ①安全を何よりも優先します。
- ②安全のために積極的に資源を投入します。
- ③原子力の特性を十分認識し、リスク低減への取組みを継続します。
- ④地元をはじめ社会の皆さまとのコミュニケーションを一層推進し、信頼の回復に努めます。
- ⑤安全への取組みを客観的に評価します。

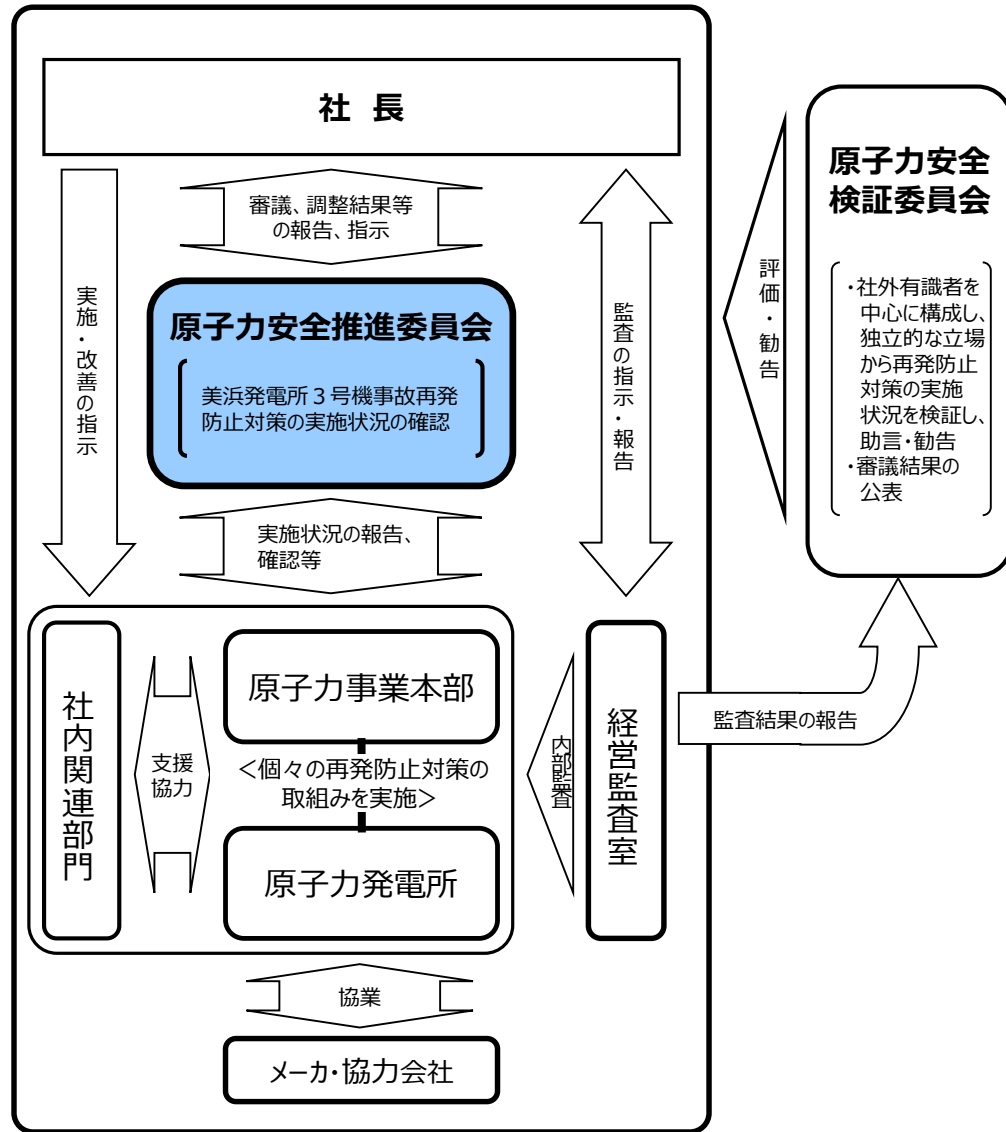
5つの基本行動方針を具体化かつ明確化

## 美浜発電所3号機事故 再発防止に係る行動計画

1. 経営計画における安全最優先の明確化と浸透
2. 労働安全活動の充実
3. 発電所保守管理体制の増強等
4. 積極的な資金の投入
5. 安全の確保を基本とした工程の策定
6. 教育の充実
7. 2次系配管肉厚管理の確実な実施
8. 計画、実施、評価等の保守管理を継続的に改善
9. 監査の充実
10. メーカー、協力会社との協業
11. 原子力事業運営の継続的な改善
12. コミュニケーションの充実
13. 地域との共生
14. 安全への取組みの確認と評価

行動計画(H17.3策定)を確実に実施するため、実施内容やスケジュール等をより具体化した**再発防止対策(29項目)の実施計画**を策定した。(H17.6公表)  
 再発防止対策の全ての項目は実施段階に移行し(H17.10)、全ての項目の歯止め化も完了した(H23.3)。現在は、自律的に継続的改善を進めながら、日常業務として取組んでいる。  
**現状の取組みを踏まえ記載の見直しを実施した。(H28.3)**

## 美浜発電所3号機事故 再発防止対策を実施し、確認・評価する仕組み



# 平成28年度上期 美浜発電所3号機事故再発防止対策の実施状況 (1/2) 2

○各所にて活動計画を策定し、確実な再発防止対策を実施している

	平成28年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
再発防止対策の実施状況の確認	品質目標設定 活動計画策定		▼(5/24) 年度計画の確認			上期実績評価 (事業本部) (各発電所)			▼ 社長への報告・指示 年度実績評価 (事業本部) (各発電所)			
対策の実施状況	適宜、計画的に研修を実施(新任役職者研修、法令等に関する研修 等)			▼(8/9) 安全の誓いの日 (黙祷、職場ディスカッション 等)								
				▼ 「安全の誓い」の日の取組み等に 関する社員アンケートの実施(8/10~9/5)								

## 再発防止対策の実施状況の確認

各再発防止対策の責任箇所が、それぞれ品質目標を定め、具体的な活動計画に従って、確実に再発防止対策を実施している。

その実施結果については、平成28年度末のマネジメントレビューにおいて、社長に報告予定。

(確認のイメージ:社内研修の担当グループの場合)

品質方針	グループ品質目標	年度活動計画
①安全を何よりも優先します	安全最優先の意識の浸透を図る 【3(1)】	①原子力事業本部への新規配属者および転入者があった場合、品質保証研修を実施し、安全最優先の品質方針、品質目標の周知等を行う。また、教育終了時には、理解度確認を実施し、効果を確認する。

## 安全の誓いの日

8月9日 安全の誓い(役員による黙禱、献花)  
全社員による黙禱  
協力会社への要請  
社員への訓示 等



## 安全最優先に向けた取組(例)

### 「現場作業における心掛け」

○発電所の現場作業における安全を推進するためには、作業に従事する関係者全員が同じ意識を持つことが重要との観点から、協力会社の方が常々教訓とされていたものを参考に作成し、高浜4号機の定検ハンドブックに掲載することで、安全最優先の意識を高めている。

- 1. 基本ルールの遵守**
  - 現場作業における安全上の注意事項を**充分に理解するとともに、基本動作とルールを遵守**する。
  - 事前に定めた作業手順に従って作業を行い、**予定外の近道行為は決して行わない**。
  - 作業の途中で迷いが生じた際は、**必ず一旦立ち止まり再検討**する。
- 2. 報告、連絡、相談の実践**
  - 事前に定めた作業手順以外のことをする必要が生じた場合に、**単独判断せず**、必ず報告し相談する。
  - 作業実施に対しては、言われたからそのとおりにするのではなく、**作業の手順や内容をよく理解**した上で実施する。
  - 作業手順の問題点や不具合等を発見した場合は、**作業を必ず中断し**、報告を行い処置及び対応を相談する。
- 3. 積極的な改善活動**
  - より良い安全な職場としていくため、小さな設備や作業手順上の危険要因であっても、**分かった時点で報告**する。
- 4. コミュニケーション**
  - 互いに**良いもの**が言いやすい良好なコミュニケーション環境作りに努め、関係者全員が**一体感を持って**仕事にあたる。